

## ■ 環境教育・研修の実施体制

EMS委員会・委員長	実施担当者	実施内容
①EMS研修資料の作成と配布 ②春・秋学期の初めEMS教育の実施依頼 対象：新入生 在学生 新採用職員	学部教員	半期ごとの学科オリエンテーションで実施
	委員長	新入留学生に入学前オリエンテーションで実施
	事務局	新採用職員のオリエンテーションで実施
	委員	常駐委託業者へのEMS研修
	委員長・学生	新入生の入学前オリエンテーションでEMS活動の説明
③春・秋学期の終わりEMS教育の実績報告の依頼	学部教員	学部実績を委員長に報告
	各教員	実施実績を学部委員に報告
	委員長	全学実績のとりまとめ、学内外に公表
④環境関連科目の実施	各教員 学部教員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学科授業で環境関連の内容を盛り込む</li> <li>・ 全学共通の授業で科目を取り入れる</li> </ul>

# ■ 環境教育の実施状況

## (学生オリエンテーション)

### 1. 新入生：入学前オリエンテーションでEMSの紹介(春)





# ■ 環境教育の実施状況

(学生オリエンテーション)

## 2. 新入留学生： 入学前オリエンテーションでEMS教育(春・秋)





# ■ 環境教育の実施状況

## (学生オリエンテーション)

### 3. 在学生：オリエンテーションで啓発(春・秋)



## <オリエンテーションで配布するEMS教育資料>

吉備国際大学SDG委員会 一学三・改修員の環境教育資料

### 「吉備国際大学 環境マネジメント活動」の紹介

吉備国際大学は全学的に、環境マネジメント活動に取り組んでいます。  
 2010年5月エコアクション21の認証登録、2014年5月自己宣言による環境マネジメントシステム(EMS)に移行し、継続して運用を図っています。  
 環境マネジメント活動は、吉備国際大学のSDGsへの取り組みの一環です。

#### 吉備国際大学環境方針

**基本理念**  
 吉備国際大学は、「日本人としてのメンタリティーと国際人としてのセンスを兼ね備え、豊かな人間性と専門性を有する、社会に有益な個性ある人材を養成することを教育目標として掲げています。この教育理念を踏まえ、教育・研究、地域貢献、国際交流などの活動において、環境との調和と共生を図るとともに、地球環境に配慮して行動することができる人材の育成を通して、持続可能な社会の構築に貢献します。

**基本方針**

1. 教育・研究活動及びそれに付随する活動において、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルの推進、化学物質の削減、グリーン購入の推進に努めます。
2. 環境マネジメントシステムを確立し、教職員及び学生の環境意識を啓発するとともに、環境マネジメントシステムを定期的に見直し、その継続的な改善を図ります。
3. 大学の教育活動を通じ、学生の環境意識の醸成に努め、地球環境に配慮して行動できる人材の育成に努めます。
4. 学内の教育・研究活動においては、環境関連の法令、条例及び協定を遵守します。
5. この環境方針を達成するため、目標を設定し、学内の教職員、学生及び常駐する委託会社の職員が一致協力してその達成を図ります。
6. この環境方針は、学内の教職員、学生及び常駐する委託会社の職員に周知するとともに、広く一般にも公開します。

吉備国際大学 学長

吉備国際大学SDG委員会 一学三・改修員の環境教育資料

### ●環境マネジメント活動の啓発ポスター

環境マネジメント活動では、学内外別に啓発ポスターを掲示しています。  
 ポスターに「吉備国際大学啓発ポスター」「無内訳費提供の啓発」「節電」「節水」「ゴミ分別」「ゴミ減量」「紙の節約」「エンペーパー用の紙類」などです。環境マネジメント活動に、ご協力下さい。

### ●分別ごみ箱の設置と吉備国際大学ごみ分別表

吉備国際大学では、ごみを6種類に分別しています。このうち4種類の分別箱をキャンパスに設置しています。ごみは、可燃ごみ(プラスチックを含む)、不燃ごみ、カンビン、ペットボトルにそれぞれ分別して、出してください。古新聞・古雑誌、紙類、袋ボール等の古紙類、乾電池やインクカートリッジも別途収集してリサイクルしています。吉備国際大学ごみ分別表に従って、ごみ分別に御協力下さい。  
 カップ類の残り汁は、①講義室 ⇒ 水洗トイレの中、②コンビニラウンジ ⇒ 専用差し籠に捨て下さい。

分別種類	ごみの種類	注意事項
可燃ごみ (プラスチックを含む)	紙くず、食品くず、木くず、紙類、ペットボトルのフタ、プラスチック類(弁当容器、弁当スチロール容器、レジ袋、ポリ袋類、菓子袋、レフィルの空容器等)、CD	★不燃ごみを投入しないこと ★カップ類は必ず分別して投入してください
不燃ごみ	燃やしたくないもの、ガラス、金属製物、ライター、刀剣、金銀類、湯など汚れたもの、その他	★燃やしたくないもの、刃物等は必ず分別して投入してください
カンビン	アルミ缶、スチール缶、スプレー缶(必ず空缶を投入)、菓子缶、缶詰、ヨーヨー	★必ず空缶を投入すること ★PETボトルを投入しないこと
ペットボトル	ペットボトル(飲料容器、調味料などの容器) (ペットボトルのマークがあるもの)	★必ず空のペットボトルを投入すること ★PETボトルのフタは可燃ごみに投入すること
古新聞・古雑誌 ごつ紙・袋ボール	古新聞、古雑誌(雑誌等)、袋ボール、その他(紙類、古雑誌、古新聞、古雑誌、古新聞、古雑誌、古新聞、古雑誌)	★必ず古紙リサイクルボックスに投入すること ★古紙リサイクルボックスは必ず分別して投入すること
その他	乾電池、蛍光灯、インクカートリッジ	★必ず分別して投入すること ★分別して投入すること

★ごみに分るものを買わない! 大学に持ち込まない! を徹底しましょう。  
 ★ごみは必ず分別して、ごみ箱に投入して下さい。

環境マネジメント委員会

## ■ 環境研修の実施状況

(警備会社, 清掃委託会社, 食堂, コンビニ)

常駐委託会社職員との連携を図り, EMS活動を進めています。

委託会社職員に取り組み内容を説明し, 分別リサイクル, レジ袋対応の協力を依頼しています。  
学内の環境取り組み状況について課題が見つかった場合, 報告をお願いしています。

(内部環境コミュニケーション)



警備担当者に向けて, EMS活動の説明と取り組み協力を依頼しました。



ゴミ分別表示の変更による  
掲示資料差し替えへの対応  
を依頼しました。



学内の食堂関係者に向けて,  
EMS研修と廃食油リサイクル  
への対応を依頼しました。



学内コンビニのスタッフに向けて, EMS取り組みの説明, 学生へのゴミ分別及びレジ袋無配布の呼びかけを依頼しています。